



海防子歌集

下



名所千題集下之目錄

五之卷

○國郡之部 并都古屋鋪屋

山城

○山城 六波羅 六條 錦小路

○上京 通圓茶屋 羅城門 九條 五條

○三條 京 都 下京 四條

○寺本通 大和 西京 奈良 河内

○河内 攝津 難波 福原 伊賀

○伊賀 伊勢 三河 三河

駿河

○駿河 八

甲斐

○鷓 郡



○伊豆 相模

○和田屋鋪 鎌倉

武藏

○首飾 多摩郡

目白臺

安房

○安房 下總

○下總 鴻之臺

近江

○近江 志賀郡

信濃

○信濃 更級郡

陸奥

○陸奥 高館

○伊達郡 信夫郡

丹波

○丹波 紀伊

○紀伊

○里之部 花村 捷里

遠里 山 里 麓里 古里 小里

○紙村 里 人 漢村

山城

岩倉里 鳥羽里 桂里 加茂里

竹田里 五水里 宇治里 梅津里

井手里 御室里 久瀨里 矢倉里 山寄

山科 深草里 木幡里 嵯峨 西院 梟

北嵯峨 島原 下河原 撞木 芥生

○墨染 大和 石上 吉野里 國攝里

布留里 籠口 後鬼尾 飛鳥里 秋篠里

佐野里 木过 三輪里 前鬼尾 河

高安里 撰津 神寄里 長柄里

野田里江口里 浪磨里信賀 花垣庄社

伊勢 多氣里日永里 尾張 夜寒

深覺里三河 万歳村武藏 駿河 一言村社

相模 曾我中村雪下 武藏 池上社

六月尾社 秩父社 田面里社 染井尾社 振岸里社

大袋村社 小梅尾 戀ヶ窪社 新吉原社 目黒社

箕輪社 新吉原社 日暮里社 關家里社 巢鴨社

杉田尾社 下総 首西村社 常陸 潮來社

近江 崎尾社 黒津里社 真野里社 蹴上社

浅妻社 志賀里社 滋樂里社 柴屋町 美濃

笠縫里社 野上里社 信濃 妻科里社 岐 咀社

清水里社 上野 小雨尾社 溝呂木社 廣沢里社

陸奥 十為里社 木下社 信天里社 越後

妻省卿社 鬼伏社

○驛之部 并町市过

原、町社 濱、町社 片町社 四过社 外町社

野町社 追分社 山、町社 山市社 藪町社

麓町社

山城 惟子过社 淀 味、宅町社 伏見

御幸町江。木屋町江。大和。初瀬江。辰ノ市江。

高取江。椿市江。郡山江。和泉。堀江。

榎津。伊丹江。北濱江。順慶町江。伊勢。

栗名江。山田江。白子江。東海道江。尾張。

鳴海江。三河。吉田江。御油江。赤坂江。

遠江。日坂江。舞坂江。見附江。駿河。

岩江。美江。原取江。鞠子江。由比江。宿江。富田江。

甲斐。鶴瀬江。駒飼江。伊豆。三島江。

相模。塔之江。小田原江。武蔵。花川江。

二本江。提江。金所江。掃除江。宿江。高輪江。室町江。

深川江。石町江。小石川江。江戸江。照降町江。

麻布江。浅草江。青山江。草加江。堀町江。

品川江。藤打江。宿江。子住江。駿河町江。下総。

巨我江。近江。土山江。大津江。草津江。

瀬多江。膳所江。美濃。岐阜江。信濃。

洗馬江。宿江。上野。倉江。野江。陸奥。白川江。駒江。

越前。木江。下江。越後。拍寄江。

六之卷

寺之部 共塚

濱寺院坊 隆 過堂院野寺院大寺院
山寺院 藪寺院 町寺院 古寺院 小寺院
寺町院 寺林院 尼寺院 里寺院 作寺院
峰寺院 神宮寺院 寺山院

山城

本國寺院 本願寺院 平等院院 東寺院 東福寺院
智恩院院 龍峯寺院 黃檗山院 高臺寺院 大佛殿院
空寺院 大德寺院 醍醐院 双林寺院 南禪寺院
雲林院院 空也寺院 鞍馬寺院 黑谷院 建仁寺院
小町寺院 戀塚院 真正寺院 惠心寺院 天龍寺院

城王寺院 清水寺院 金閣寺院 銀閣寺院 壬生寺院
御影堂院 真如堂院 清閑寺院 聖護院院 黒森寺院

大和

班鳩寺院 初瀬寺院 般若寺院 二月堂院
法隆寺院 東大寺院 達磨寺院 當麻寺院 橋寺院
漆井寺院 壺坂寺院 因寺院 元貞寺院 七大寺院
世尊寺院 河内 道明寺院 務川寺院 攝津

一心寺院 摩耶寺院 天王寺院 須磨寺院 伊勢
一身田院 世義寺院 關地藏院 尾張 笠寺院

三河

鳳來寺院 遠江 每間寺院 秋葉
油山藥師院 駿河 久能寺院 清光寺院 甲斐

指尾藥師五 惠林寺三 身延山七 相埃 茶湯寺五

松久岡三 建長寺三 藤沢寺陸 極樂寺陸 武荊

秋寺陸 本門寺陸 平林寺陸 東海寺陸 雄寺 陸

竹之五 寺陸 増上寺陸 中野塔陸 羅漢寺陸 浦島 寺陸

上野陸 梅若塚陸 寬永寺陸 抑島 陸 護國寺陸

駒取 堂陸 三 浅草寺陸 慈泉寺陸 益寺 陸 目黒 陸 陸

稱名寺陸 木母寺陸 泉岳寺陸 安房 日本寺陸

那古寺陸 清澄寺陸 下総 大巖 寺陸 真間寺陸

常陸 根本寺陸 近江 石山寺陸 長命寺陸

横川陸 浮御堂陸 永源寺陸 義仲寺陸 三井寺陸

志賀寺陸 日枝山陸 関寺陸 美濃 柿寺 陸

信濃 臨川寺陸 善光寺陸 上野 光泉寺陸

下野 茂林寺陸 陸奥 黒塚陸 瑞巖 寺陸

出羽 紺滿 寺陸 越中 那谷寺陸 丹後

成相寺陸 切戸 及珠 陸 紀伊 女人堂陸 那智寺陸

紀三 井寺 陸 筑前 安樂寺陸

○神社之部

○濱社陸 古宮陸

山城 橋姫宮陸 地主権現陸 加茂社陸 太泰 宮陸

梅宮社陸野ノ宮社六八幡山社。愛宕山社。齋院社
 祇園社陸貴船神社陸下賀茂社。神泉苑社 [大和]
 春日社陸布留社陸藏王權現社三輪社陸 [和泉]
 蟻通社陸 [摂津] 今宮社陸。生田社陸。高津宮社
 兵服社陸住吉社陸 [伊勢] 神路山社陸朝熊宮社
 尾張 津宮社陸熱田社陸 [遠江] 秋景山社
 甲斐 酒折宮社陸伊豆 三宮社陸 相摸
 江ノ島社陸 [武藏] 新田社陸。富兵八幡社陸。王子權現社
 神田社陸。龜炎藏宮社陸。攝津權現社陸。牛御前社陸。三圍社陸
 水稻荷社陸 [下総] 香取宮社陸。曾我姫社陸。手見女社陸

阿諏訪社陸 [常陸] 息栖社陸 鹿島社陸 [近江]
 竹生嶋社陸。多賀社陸 [美濃] 惠那山社陸 [信濃]
 戸隠山社陸。御嶽山社陸 [上野] 妙義山社陸 [下野]
 空八島社陸 [出羽] 羽黒山社陸。月山社陸。湯殿山社陸
 越中 立山社陸。俱利伽羅峠社陸 [越後] 弥彦山社陸
 安藝 伊都岐島社陸 [紀伊] 玉津島社陸。淡島社陸
 檜隈宮社陸 [讃岐] 象頭山社陸 [豊前] 高良山社陸
 立山社陸 [備中] 吉備津宮社陸 [筑前] 宗像社陸

○雜之部

攝津

住江松^{七五}

伊勢

伊勢の蚕^{七五}・濱萩^{七五}

大淀松^{七五}

不斷櫻^{七五}・鸚鵡石^{七五}

尾張

藪香^{七五}

駿河

鶴^{七五}・^{七五}・^{七五}

相模

虎ヶ石^{七五}

段葛^{七五}

腰越^{七五} [武藏]

秩父松^{七五}・高田馬場^{七五}

梅屋鋪^{七五}

五本松^{七五} 都鳥^{七五}

常陸

要石^{七五}

近江

茅崎松^{七五}

[信濃]

布施屋^{七五}

[上野]

伊香保風^{七五}

[下野]

御花畑^{七五}

[陸奥]

武隈松^{七五}

九面^{七五}

姉島松^{七五}・文字摺石^{七五}

[播磨]

曾根松^{七五}

筑前

不知火^{七五}

名所千題集卷之五

田喜庵護物輯

○國郡之部 都古屋鋪基

伊賀

いかのめは伊賀六志うし取神のま

存義

いしきあまの日の入伊賀の境うか

士朗

伊勢

神くものいし杉まきいしもの杉

玉屑

宍くまよ楽なるまき伊勢のまき

椿堂

おしけはし日和いしきの田植うき

梅年

揚や山ほろいしきいしものまき

鶯のまきも鹿まきや伊勢の杉

千賀

○伊豆

夕影や伊豆の信を尼の江
伊豆越也小春の河や海をゆる

茶静

山城
○六波羅

六波羅や本舟のこも梅の香
六波羅のこも梅の香

一宵

全
○六條

六條や夕のまを人の通る
六條へ夕のまを人の通る

涼谷

全
○錦小路

錦小路の魚の後の市を
錦小路の魚の後の市を

素忠

大和
○西ノ京

西ノ京のあつたふりこねの系
西ノ京のあつたふりこねの系

忠記

相模

○和田屋鋪

其物や泰山を西の系
と〜とや概も、葎の和田屋敷
葎日の妻畑を〜和田屋敷

玉光

山城
○上京

上京はまの船魚や馬本〜
上京へゆ〜程をぬ後の月

柳居

上京や雪ち〜を〜を〜

兼後

○河内

たるるの東も操姫の河内うね
常や河内の山を垣根哉
河内女うねの子ん出す笑うな

双鳥

禾才

和伊呂加

相模

倉

篠くくの松葉の吹折りたる
常や篠くくはさばさ

澧水
まけ

うはらうや管七竹の系末堂

星谷

篠くくや芒子瘦れしゆの塚

松蘿

篠倉や大徳やうきまの月

梅壽

かつらや名栗くもけり子

壽翁

首飾や板葉臺の小葉木如

秋拳

首飾や一寸杖葉へ雜草後

菜齋

うけりくも捨る葉をさそ葉系

吐山

いとけや田五たつけくも厚葉

碓嶺

下

三

武蔵

飾

多摩郡

いとけや田五たつけくも厚葉

碓嶺

陸奥

館

鮎唄よ事切りき厚葉の郡う南

たる記

こく飯のまは流か一枯尾を

竹見

きく飯へ外さくも只水濱

詠傳

きく事らや嵐も沈き舟の夢

且臺

まらくもる葉うり行連のまを裁

一寸

この川果こくゆめ伊連那

春路

西栗押のま流あま行まの郡ぐ

箕山

ま稻のま枯れゆも溢る伊連那

岐久守

いさよんハ丹波の人とあはれ

風芝

出代や丹波の母はま履うけ

紗雪

加多

下

三

山城
通園茶屋

乙多り花を丹波よまもり

宇橋

通系り利業も卯月八日之船

葵亭

通系りの戸はまはけは時を

哉児

通園ておのほろぬまもり

護物

甲斐
鶴郡

文竹や鶴の歌へ入ある

蕉雨

永日の四月も鶴の都を

其行

去りて鶴の都も田を

梅年

系えりよ鶴の都のを

護物

相摸
津奈井縣

えきりの入まもりけはね

言書

そくせのほりまもり

岐久守

大和
奈良

面うらむ奈良を先くまもり

可盈

當りも眼をまもり

土明

若る下流や杖持り

宇橋

山流やまもりの所をの梅の

川菜

月もまもり

和来

摂津
難波

浪急かのかまもり

儿董

梅らるや浪急の東の

崇北

難波も梅岨は

五付

出りて

米友

厚の

来廣

洋奈

山城門

九條

山城

福泉

黄の鳴や沙まの羅城門
端の棠枝夕流さけ 羅城門
むね免九條を考揚る身
おほる月東のふて 九條を
るる虫の九條はふて 衣つ
山城へまの苗うつる
山城や冬ふも三日の月
福泉へまの形のうらまき
福泉や秋まのまのま
福泉ハ橋の鳴る自家うら

蓋村
重厚
月居
荻若
迦弥
召波
玉光
美奈
泉里
大梅

五條

下巻 鴻臺

安房

五条まてふハなつて 柳うら
いさばしや西条五條の岸車
いねつや五条まてふハなつて
鴨よ枝さねくさくさ 鶴の臺
草外て葉も折るも 鴻の臺
信衣千尺垣や反の 鴻の臺
野吹や雨よ吹く 鴻の臺
清命講や安房の旭ハ余ふ
ぬ月の雪の根もふて 鴻の臺
つぎ雪の雫もふて 安房の鼻

召波
者吾
其翠
逸山
日人
菜角
梅壽
里丸
雀雷
箕山

良久矢
不古阿

○近江

喜のあはれめくふはりのあき上
鯉鮒のゆきくまをきとむあやめ
ユウ菊のふゆをきほくふいふも
日くくや日わのつくふあを江
頃あとのと江くはくく秋くは
二条や鹿をきまよふ人ひくも
二條の柳をきまよふ雪る奇
三条く種本買つふあや初時菊
山あふや八文段の月あくは
秋の今文段の柳くくまき免

鹿古

十太

久美

宇弘

茶静

大江丸

思父

越見

完来

大梅

○山城
三條

○信濃
更級郡

文料の月もくくやすまはれ
はくくはく寺も酒をく田植く菊
文段や菜のきまてく月くは
本持やあまあ思く思く水は
涼くさやまきく雪るくあま入
京へ出る徑のふえきく九月く
新まややくまくくあ系くは
徳あや川あくくふ系く所
きく汁く紀伊の月ある者あや
扇あの子もく紀伊の柳ある菊

素龍

禾木

夏桂

蝶夢

沙鷗

茶静

露岳

未磨

檀堂

玉光

○山城
京

○紀伊

文料の月もくくやすまはれ
はくくはく寺も酒をく田植く菊
文段や菜のきまてく月くは
本持やあまあ思く思く水は
涼くさやまきく雪るくあま入
京へ出る徑のふえきく九月く
新まややくまくくあ系くは
徳あや川あくくふ系く所
きく汁く紀伊の月ある者あや
扇あの子もく紀伊の柳ある菊

○武藏
目白臺

河や丸ふけ目白の夏士の草ぬらち
東風のまゝに松の下もや目白臺

乙二
胡準

山城
都

命の月子保く新程まゝ目白臺

一肖

まの東のまゝも出り都の如

士朗

ぬ月子都の芥のも中より菊

草朶

糸咲て東のまゝも都の如

草雨

菜苗や都の後のまゝも里

紗雲

都のまゝも都のまゝも都の如

百慈

○多
河

橋のまゝも入る茶村子

士朗

ま河路や流波のまゝも山のか

王光

○陸奥

まら結ぶやうとも島をくみおれ

宗讚

陸奥ハ田のまゝも柳の如

民児

みらぬやまゝも柳のまゝも

蝸堂

陸奥をいづりも都の如

菜静

○山城
下京

下京や都のまゝも赤守

赤守

下京のまゝも赤守の如

利雪

下京のまゝも赤守の如

可景

六条ハ都のまゝも赤守の如

可景

都のまゝも赤守の如

菜静

掛魚の鼻のまゝも赤守の如

可景

免美之

○三
四
條

七

○下 總 野々 四葉の 辻や 菊と 千代
辰の 圃より 山に 下 菊の 色
保吉 其礎

近江 志賀郡 下 樋へ 中へ 流るる 川の
圃兆 昌作 志賀の 歌ハ 草一の 雲
其礎

志賀郡 下 樋へ 中へ 流るる 川の
圃兆 昌作 志賀の 歌ハ 草一の 雲
其礎

○信濃 赤松の 信濃の 歌ハ 柳よ 水
斗入 長壽 赤松の 歌ハ 柳よ 水
斗入

陸奥 信夫郡 一日 夕暮 柳の 影ハ 水
北岳 素麿 柳の 影ハ 水
北岳

山城 千本通 千本 通の 柳ハ 水
北岳 素麿 千本 通の 柳ハ 水
北岳

○駿河 古き 柳ハ 水
北岳 素麿 古き 柳ハ 水
北岳

之世寸

武藏 駿河臺

| | | | |
|-------|-----|------|----|
| 柔毛の毛中 | 流の流 | 河 | 宇橋 |
| 刷毛 | かき | 流河を一 | 五光 |
| 目 | 流河 | 流河 | 吾彦 |
| 字 | 流河 | 流河 | 且こ |
| 字 | 流河 | 流河 | 吐山 |
| ハ | 流河 | 流河 | 沙明 |
| 杖 | 流河 | 流河 | 碓嶺 |

○里之部 村遊里

| | | |
|----|-----|----|
| 遠里 | 五月 | 美 |
| 山里 | 宵月夜 | 宇橋 |
| 山里 | 雪日如 | 榑堂 |
| 山里 | 栗の花 | 榑堂 |
| 麓里 | 元 | 榑堂 |

登也 不

古里

古里や荒神様も来くの時
日よけの古里の雲
ふる里へもその時の月を
古里や山の月もあやむ
古里に似る人さへ一盞の月
花の物小里もては相の雲
水免くく小里に雲を梅柳
初博や中筋路きの小里を
水邊のむの小里やはくく
水邊のむの小里やはくく

鳥頂
摸立
雨林
梅壽
護物
保吉
東芽
分長
柳寄
宇橋

小里

孤村

里人

漢村

雪の麓ふく下ハ孤村のむくも
穂やくぬ村待はくく 孤村は
そこの路孤村のたは死す也
あゆむる里人のあやむる月
里人のいづれはむも来く
鳥啼て漢村のむくもあは
村の下の下も来くはる漢村を
幟立く家の人形も漢村を
葉も来くはる漢村を
まの首の眼も来くはる漢村を

雨塘
養里
兀堂
蓋村
保吉
蓼太
樗堂
椿堂
了々
玉光

古
表

下

山城 石倉里

宍倉の程女をきよほしき人
完倉ら志う水人等々の小倉丁川

蓋村
けん免

大和 石上

まき梅や宍倉のうらまを
秋のせいのあはれはうらまのこ

春路
菓二

武藏 池上

メ白のゆか庵ふもあんな石上
卯のせや池上へまふ五六丁

梅夫
百明

常陸 潮来

池のりのふねすこくくはるもうえ
ゆきまわいこをたぐるはんが船

馬印
一宵

きよさね海来取けと貝の原根

乙人

紫陽をわいここのあはれは家

蕉雨

さす梓よはるくくや海来のた

元風

武藏 六月村

とみ解れ六月村のたはれ程
村の老く六月村の桂う南

存義
午乳

伊賀 花垣莊

花垣のたをわいじんを七日
花垣の人くまはるは紫葉

星布尾
ちう紀

近江 藤村

藤村の古きとらやまのこを
藤村の村や膏月まの門の梅

一蕙
越児

伊呂波 邊 鳥羽里

坂考や鳥羽の年飼おらうりる

木雄

當りてふとふあこもねの菜賣り
 和子やちねの市田もあはれ
 多ねの穂片あふけえ苗こし
 淀多羽も若妙底の夕の如
 ちみ酔く一雨所ぬ十存の里
 又蕪の十存も老よきとあ
 麻島やとりしとるるあちぬ
 逐水のくまや後父のちか時句
 相のむさくつらの里とらま
 杜鵑植の星く由縁りま

田都喜
 市鳳
 輪之
 茶静
 谷雄
 輪之
 宮庵
 旬光
 曉臺
 宗拱

陸奥 十存里

武蔵 秩父

山城 挂 里

全 賀茂里

川旁やうらの里の海一の於
 踊るやうらの里の香月の夜
 篠もい蕪もや桂の角カ觸
 白芥子も燗くかぬかもの
 かろ茂の夕つる葉揚り乾きく
 おつしんか茂の印もあつしん
 菜のふや極もあつしんもの里
 惟ふやうもあつしん際あつしん
 赤崎の古くもあつしん 雨の森
 赤崎の町れんもあつしん

杉枝
 樽山
 護物
 儿董
 一醉
 蒼帆
 東芽
 了清女
 龜白
 阿徳

根津 神寄

○^詩葛

西

けしきよの首ぬ海もくき
移りゆく首ぬぬのち根とや川
朝くちや朝子ぬつる首ぬ雨領
正月もついで出たねの首ぬ西
かき流の里に林ある首ぬ葉と南
宗並子かき流里の山あり南
一序時やうきをさくる古もく
之より世の里も枕の言とく南
けしきよぬぬの里のまの月
卯の花もぬぬの里や波の春

古波二

一榮

訓山

葉靜

改道

茶靜

宗讚

素忠

一肖

来鷹

大和

吉野里

尾張

夜寒里

山城

竹田里

桜もくや竹田の里の小を飯
また買はばの山より溪竹田
多しぬる後よ竹田の子苗か
ての川にのすくくさるる
美並にのぬぬ ぬぬぬ
まき流やにの山よまき流け
かき流やにのぬぬ ぬぬ
まき流の山よまき流の山よ
かき流の山よまき流の山よ
かき流の山よまき流の山よ

守三

松保

詠師

上朗

杉長

杉長

茅磨

樂山

大梅

斗入

葵亭

全

玉水里

かき流の山よまき流の山よ
かき流の山よまき流の山よ
かき流の山よまき流の山よ
かき流の山よまき流の山よ
かき流の山よまき流の山よ

下

三

加与多

下
山

河内
高安里

伊勢

三ノ氣里

武蔵

田面里

相模

曾我中村

玉手井もまもるまの月 蒼乳

玉水もよもるまの月 淡水

三ノ安の里にまもるまの月 平雄

三ノ安やまもるまの月 俊吉

上ノ安の里にまもるまの月 旬光

宋古もよもるまの月 黙翁

藤もよもるまの月 古 政二

三ノ安の里にまもるまの月 旬光

藤人もよもるまの月 太祇

人の知るまもるまの月 白雄

在るまの月 みる夜

三ノ安の里にまもるまの月 昌作

三ノ安の里にまもるまの月 多代女

巢鴨もよもるまの月 宇橋

降給もよもるまの月 沙明

三ノ安の里にまもるまの月 葦村

三ノ安の里にまもるまの月 五橋

三ノ安の里にまもるまの月 三ノ女

三ノ安の里にまもるまの月 叢

三ノ安の里にまもるまの月 亀太

多曾津

武蔵
三ノ安村

相模

津守里

信濃

妻科里

越後
妻右御

妻右御の橋もすめ乃字はくし
少捕抱く人々羨む妻の有り
出代ハハハ飛妻方の月更く水
妻の何よのよあし蒲束りきわくや
くくの月二條見の里を通り
牛曳て福さめめの里のりく紫ふ
花印老根岸免らぐも老てきく
まふゆや根岸へくくくく
まふゆの根岸へくくくく
中あさやぶとを皆戸の根岸村

護物
五彦
多紀
護物
士朗
龜白
五彦
了清女
とこ女
荷乙

尾張
穴味覚見里

武藏
根岸里

越後
長柄里

穴乃山本柄の里やと水標
日ハ申時き柄のくくの橋を度
水のまふ昔本柄かまは
灯とり守やう治ハ枯やうは
う治まてめまの光き二月
初雪やう治の小葉あうは
是合やう治の小葉あ水に
まふる日も麻くわう治の
菜のむも臭く梅はの月
月くろや梅はくくの水

徐覺
乙彦
杉長
羅城
三津人
五彦
崔角
永枝
五彦
秋舟

山姥
宇治里

全
梅津里

於井
久乃

井出里

風せまの中や梅津の夕夕
菜のむやわらけの井出の里

岐久守
菜兆

野田

雪のむや田はる川を渡るの里
橋下よき中田の苗代まきこく

草池
護物

野上里

合飲を井中田の煙とさるふら
あつとわ泊るさるせ上まき

南院
士朗

山室里

やまや不夜もせ上まき
大吼るせうこの里のまぬら

五陵
葦村

早梅や山室の里のまぬら
鞠教の所り山室の霞む月

夕光

大代家村

蒼鳥なくや山室出ぬらから水里
せうあそふもあつこの大あそ

牛乳
素鶴

鬼伏里

やあ汐ま流るる鬼の伏る小石見
鬼伏やむかへる波のうら

護物
夕光

久瀨里

久瀨の橋はまき山室あつとく
久瀨のうらまき山室あつとく

秋守
杜夢

國栖里

まきのやむかへる波のうら
むかへるまきのやむかへる

未夕
似曉

黒津里

夕夕や黒津の情あつとく
夕夕や黒津の情あつとく

士朗

十一

十一

山城
矢脊里

おしくはそふる孫生の星はび
わくまの山雲のまはる葉ハあや
鷲鶴や里はくくるはるや
一群ハ五はくくはけくる
や馬あよまかく矢脊の里
ふ山堂と矢脊の里人並ひた
牛の脊より鹿子はくくや矢脊の花
鷲鶴や里の草之矢脊の村
山崎やまの川の中もくつ
終多時やハくく山崎一なる

一首
杉長
春路
亀尖
存義
蒼虬
草雅
其挂
千堂
林曹

全
山寄里

全
山科里

指りや溪山崎ハ社の中
山科や六條の菟くくけ
山寺那や一寸と毎く樹の
山科や杉葉の下に芥の水
山一かや新柳くく村の
山科へくく豆腐や夕時
新葉あま村のくく
旅多時や万々村のくく
松よりくくまきくく山
まきくく山崎の里

春路
椿堂
菜所
米佛
川峩
菜角
大魯
萬里
素芯
菜角

三河
三力茶村

近江
真野里

矢万

○全 蹴上

山城 深草里

を坂の蹴上の泥り系もろく
約はまや蹴上を控りし終る
深草の里の里おきまははら
深草を流のあまする地
原村の里も終り秋の中
ふのまや厚みはるを衣
涼くまやまね田もゆるまの雨
産日や其まものふ布苗の里
布苗のまや月あまのま
惟も布苗の終りも乾き

禾木
万里
素志
素童
草垣
田喜
兩賀
乙二
素迪
掘三

山城 木幡里

大和 麓

○全 後鬼尾

山伏も鳴子川に布苗の里
凍解や木幡の里のかく法
中に入や木幡の里の終り
あはれやまの里の六あさん
稲垣は出まも終り木幡
歩けりや木幡の月のみ終り
臥中もあまの初蹴上
麓口の村も終りつ
後鬼尾の里も終り
ふも終り後鬼の里人老や位

士休
大江丸
哉見
可布
梅壽
茶靜
蓋村
儿董
可也
志兮

古詩不

武藏
○小梅村

怪鬼村の吟もききし暗の月
下流のや卯春毎子小のめ村
明月や水門をくさ小梅鬼
正月の雲あもく小梅むら
古き草や小梅の一子垣
水と流る小梅の里や流る夜
草枯や月のゆとをを流る窪
竹向と流るくむもく流る窪
流るまきり一虫のくも流る窪
卯春の吟もききし小梅鬼

護物
巢北
谷雄
黙巢
禹立
柳寄
了流女
衣月
護物
吾夜

全
○戀ヶ窪

上野
○小雨鬼

陸奥
木下

学あもぬきし流や小の村
木のまきり一流の古きよ名よど
木の下やまよはくも流る夜
ゆきも木も流る窪もく
世を流る木や江口の都く
流るよき江口の里の月時雨
くさく流るめぬ江口の雪もく
橋も流るの里もききし
卯春の吟もききし
夕暮の流るよきし

畚民
吾夜
谷雄
詠帰
士朗
守克
護物
鳥醉
卓二
草雅

大和
飛鳥里

樺津
○江口里

下

下

秋條里

秋志のやそよのねくのぬの月

大鏡

近江 浅妻

くはさきつづつ月能秋條お山が

元風

山城 嵯我

歩つるまゝのあそびをやとくま

榑良

何さ妻や唇もふれあくるまの枕

玉光

暖暖もと泣くる朝のほろこ

蘭更

暖暖家のほろこぬる城の立あふ

岱年

去つるまのあそびも暖暖家の後桂

湖光

まをよめぬまゝや暖暖家の送る信

黙菓

つらや暖暖家の美人の死をく

一具

西院の梅は月毎にまきくか

蒼虬

大和 佐野

西院の梅のつらまゝやまはま

和水

山城 北嵯我

共立まや佐野の酒をのむまゝ物

大江丸

大和 木辻

まをよめぬまゝ佐野のふれあふ

竹加

お暖暖家や烟の中へ能く露の音

虚白

北さくらやまゝのあそびもま

松雄

まをよめぬまゝ佐野のふれあふ

玉光

さる灯籠まはまのあそびもま

茶静

ねの衣まはまの月を枕う

越見

善阿左

武藏新嘉 京町

京町のまをよめぬまゝの雪

吾彦

京所やまをよめぬまゝの雪

宇橋

信濃
木曾

京河や錦よつとむあゆ雪
木乃よ入て雪白くお茶時
搦ちらや木乃の二月お雪籠
木乃谷やそむおのま鹿そ
味垣のま月ハ顔まぬくま
峰ハまはたよの雪や木乃の秋
地角カハ貝ハ頂のま雪の下
ほつとまおさくおの雪の下
よふま目黒の梅咲くし
秋ハは目黒の所や白の春

沙明
一具
井行
玉蓬
茶静
護物
奈儀
詠歸
亦玄

相摸
雪ノ下

武藏
目黒

大和
三輪里

単よまきさおぬる男目黒が
ワケや雪よ出初る三輪のまを
おの月ハ輪のまおまはら
まきさくお経並はらと輪の市
水乃のまははくや之輪の里
六はまわら輪のほをの油煙捨
うらまはま輪のまおまはら
袖のまやまのまの里ハ所つと
まらまらまらまらまらまら
みるるまらまらまらまら

梅壽
曉臺
大江丸
素共
田部喜
菜塙
一具
大梅
みるる
旬光

喜由
美由

上野
溝呂木

武藏
箕輪

下

下

○^{山城}島原

島原へゆく石もつらや横月
時をよそふてあけくもよも
高田を向ていまぬまをい
舟くしつら秋葉一 下河原
静の徳えまゆらん 下つら
はらふおや一足ふゆて下河原
初鹿をむくもつらつや下河原
まつ雪やすいひをり下河原
劉玩の松く泊るや横本町
はらふまゆ沙中薬地や横本町

○^左撞木町

大祇
牛彦
元風
み彦
葛三
葉所
管聖
護物
召波
巢北

○^{武藏}新吉原

嘗もやまの燈の消ぬ撞木町
むす坂より系うけて 年まふて
系へるハ吉原をまゆ 砂まふ
土系ハ梅ももてもまゆ水也
く系ハ枯枝の影 秋の風
凍るぬや吉原をまゆ 虎のまゆ
むすの原。志賀の 撞のまゆ
湖もまゆもつ志賀の 撞のまゆ
門前子柳もまゆの 志賀の 里
初原やらこまゆハ志賀の 里

○^{近江}志賀里

護物
巳人
巢北
芳中
日人
應尼
木僊
米彦
舒風
沙鷗

滋樂里

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

荷乙
全夜

栗屋町

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

梅齋
え風

清水里

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

士朗
雅堂

信夫里

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

清人
春益

日永里

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

春益
全夜

駿河
一言村

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

梅齋
全夜

武藏
日暮里

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

全夜
一宵

上野
廣沢里

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

一宵
葛三

山城
芥生里

志望の古くも
志望の古くも
志望の古くも

葛三
一宵
原年

大扣
○前鬼村

武藏
○開成永里

山城
○墨塗

芥子もろろ芥田坊々々々々の雨
前鬼の山王もろろりや香蒲散
はらららのろろお鬼の宿の物語
草木のもろろろろろろ草木
おろろろ開成の草のにはあつた
さきいんろろ草木あつたろろの音
暮ろけろ付るもろろ草木
ろろろおろろろろろろ草木
墨塗の柳芽もろろろろろろ
ろろろろろろろろろ朝の月

菓北
太紙
椿市
吾彦
菓北
普記
亦玄
梅壽
宗護
観瀾

摂津
須磨里

武藏
○菓鴨村

杜鰲くはら墨塗らろろろろ
まろ月やらろろろろろろの夜
おろろろろろろろろろの夜
ろろろろろろろろろろろの里
ろろろろろろろろろろろの秋
喜柳のまろろろろろろの里
陰雨の菓鴨ハサキ春眠
ろろろろろろろろろろ一立
柳のまろろろろろろろろの夕時雨
掃ろろろろ菓のりあや菓鴨

訓山
養虬
素忠
騎龍
日人
菓静
吾彦
元醒
喜梅

下

古

松田冠

すゑつての梅よすゑん松田乃
養父入の帰るゝや松田色
汐風の松田はや——梅もみち
朝霧を海苔に染るゝ松田乃
入梅もたゞらの雨の松田村

粟北
馬羊
里丸
粟角
松水

○驛之部町市辻

○原町

原町や出務もろろ雪の鈴
鏡子鳴や日影雨ゆく原の町

護物

梅ささや片なろくく原の町

里長

○濱町

末枯や木叶らるゝの濱の町
梅うまやうゝ喜ぶさ濱の町

玉光

濱町へ吹雪くそく舟もが

雪且

○片町

片町はささやまのや
片町の燈台廻——秋の暮

一藤

携さく片町くく——秋の暮

季子珉

下

上

四ツ辻

片所のせうけは恒やかさるる
四ツ辻はちとくはゆるぬ山岸車
四ツ辻へ出るとさるる所は
よのせわ性子の汗うはくま

應尼
素檠
禾木
夏挂

外町

外町の草のさるる中のみ
六段越え相のむさか町が
小き崎門も中町のま日る

荷乙
未鷹
乙二

野町

嫁入の灯をさるる中町が
四五尺の梅よりすむ中町が
春雨をゆくと中町のはるは

黠巢
可夫
笑壺

追分

ふこはもるぬ中町の着供
追分の模るはら一夜のむ
追分ハ山をさるる中町が

獲物
玉光
未鷹

山町

山町や廟のおとほるる花
はくしや夕暮のさるる中町

星谷
栄亭

山市

山市や牛の初花の梅のふ
山市の影を押合ふ梅のふ

古
波二
入船

白苗
野
也

○藪所

新方や船くさるある藪の所
任ふきぬくさる涼しや藤の所
志くおろしやおもころのくさる藪の所
段川やふん出立の藪の所
五月雨や藪の所のたのむ
さくや藪の所のくさる

兼於在

志く

くさる

卓池

一肖

一蕙

○林鹿町

○伊丹

○岩瀬

柳さくや伊丹の杜氏出エおひ
菫さくさくや伊丹のふゆの月
岩瀬やさくさくも研ふ舟のくさる

一具

應尼

袁丁

大和
初瀬

駿河
原取

武藏
花川

遠江
日坂
東海道

岩瀬やさくさく波のくさる
岩瀬や菫書密蔵すおのち
さく水も初瀬の花の流まう形
お紫さくおのさくさく初瀬の町
さく月もさくさくおのち
一口も末拾らぬやさめ、宿
さくさく水龍さくさくむ川戸
くさるの月お店をくさる川戸
さくさくの日お越る日さくさく
日おやのさくさくさくさく

玉光

希拙

月居

吐山

子龍

巢二

梅塙

應尼

五帆

和未

也
不
伊
十
尔

日坂や煙をくわたり夕ワケ紫
氏

日坂の餘りくわきし本芽か
春路

明待ハ二本枝の月をきく
西六

鈴の音も坂の竹二本枝うき
小圃

まき柳の赤城をハ百里うき
士朗

もらきや東海をハ山つて
斗蔵

某の心は日たき某ぬ塔の过
家柳

友草も外人とぬき塔の过
二生

春投るさきもくわき塔の过
雞周

むる白くもきりぬり塔の过
護物

武藏
二本枝

東海道

相模
塔の过

相模
小田原駅
東海道

小田原をくわきぬ雨や蔓のちこ
昔丸

鈴音や小田原をくわき小地灯
里丸

小田原をくわきぬ雨や蔓のちこ
一蕙

かきぬき塔の过きぬ花芽を
吾彦

惟子くわきぬ雨のちこ
護物

金所へくわきぬ雨のちこ
斗蔵

と直所やくわきぬ雨のちこ
秋朝

草市や鶴子起りか人も人宿
草均

鳴鶴子の中もぬきや掃部宿
一鐘

鳴鶴子の中もぬきや掃部宿
黙高

全
掃部宿

武藏
金町

山城
惟子过

○^取拍寄

○^{山城}淀

○^{三河}吉田駅

東海道

○^{大和}辰ノ市

芦垣のふかひつゝ色の拍寄

麦と附うさきもあはれ極味

新うぼろもみもゆるや淀の町

まゆ柳や雨のぬれたる淀の株

殿様ハ海一うらん流の月

と山向て涼きさきき淀の家

戸庭守り上りあめを淀の角櫓

ゆきまきのひまかき吉田の家

吉田うらなひゆるゆるあまや旅

おんや藤々現く辰の市

大梅

護物

挂五

摺堂

素忠

守三

季珉

子場女

宇橋

巢北

○^全高取

○^{武藏}高輪

○^{大和}椿市

○^{甲斐}鶴瀨

辰の市菓のむのちと味覚

朝魚のくまら蓋や辰の市

さくらを先くまの山吹赤

さくらもえぬ類よきさき

さき輪や牛の角もさつ

さき輪子旅の目えを削りけ

さき輪やゆ月あそこの夕霞

椿市の油もさきき恵はま講

牛追の椿市さきぬ夕時句

山吹や鶴瀨の岩の礫大根

凡才

玉光

土朗

怠兮

駿鳥

杜英

砂粒

羅會

巢二

護物

加与
津

近江
土山宿
東海道

冷汁や鶴鹿もよ守智蒲茶
豆うぶや土山立の人う米
土山や日く水く果る豆の花
五月雨や土山こたるこつふ
土山や積の音おきし片時ぬ
明はふて時雨そめり子葉の法
あつこやねまきくあつるの沓
旅人の写あもさるの 帰る厚
せ風以室町のーら初はる
室町や月けりくく時雨

杉露
士朗
佛朝
芳汀
菜角
士朗
竹世
宇橋
儿董
宇橋

尾張
鳴海宿
東海道

山姥
室町

五満や室町筋そとふ
むつ所や二階まゆる葉の花
室町の葉終てくる葉の
五月雨や大津の所の片下
牛すの大津ちまもやまの雪
あきく本侵の大津立子けり
秋葉のち津はくやーゆふ
春日ぬのそたふ時雪まはは
空の白のさくや葉文の菰菟時
ほの月まきへあつハ馬やらふ

宗讚
素心
玄徳美
士朗
椿堂
其行
卓郎
護物
宇香
宇橋

近江
大津駅
東海道

伊勢
桑名駅
東海道

五満や室町筋そとふ
むつ所や二階まゆる葉の花
室町の葉終てくる葉の
五月雨や大津の所の片下
牛すの大津ちまもやまの雪
あきく本侵の大津立子けり
秋葉のち津はくやーゆふ
春日ぬのそたふ時雪まはは
空の白のさくや葉文の菰菟時
ほの月まきへあつハ馬やらふ

宗讚
素心
玄徳美
士朗
椿堂
其行
卓郎
護物
宇香
宇橋

津奈登
久

下

下

近江
○草津駅
東海道

上野
○倉野

伊勢
○山田

遠江
○舞坂駅
東海道

かくちあやめり葉名といはえ
雪端たくまは日わやうめの茶
一厚まきき膏を草津のやまに
飼猪の日あまゆる草津妻
ま力雨のくくろのこくま孫のむ
倉うやや牛うらと通る秋の香
くくくやまゆきく酒價や百合のむ
かこましく伊勢の山田の早乙女等
まきき白や山田の所をや五折て
おの坂の並松ええのまきこの秋

一蕙
宗讚
燕山
箕山
士朗
屯
岐久守
みち彦
似曉
茶静

駿河
○鞠子宿
東海道

山城
○伏見

まは坂やま通まき——神無月
かろ白や鞠子の汁かかき時分
おしゅうら鞠子泊の零々餘子め
葉搦のまうら子いま——本宿宿
まのくわらまぬ鞠子のまきの月
黄きまよ出逢えりるま鞠子宿
まのいそ山吹ちんう——招
わの井を改くさくまらや伏見招
古手なま官人伏見の片附る
人知ぬ牡丹敷のま伏見招

岐久守
今彦
素人
亀白
阿惠
禾木
壽翁
ノ且
西月
卓池

未久
不也

下

三上

武藏
○深川

伏んまへに流るる新川の志う水が
 深川の暮るまむら五月雨
 深川はむらむら夕柳
 赤う川の汐先むら子規
 町安き水も深川のおもひ汐
 深川の軒下むらやけり子
 曉や菊の香あちる赤幸町
 うちむらむら赤幸町より始めむら
 冬の田まかあむら久郡山
 ぼくむらむら赤幸町郡山

兼
 松江
 保吉
 長翠
 会友
 季子珉
 冬亭
 白雄
 磯山
 うは美
 巢二

大和
○郡山

山城
○御幸町

三河
○御油駅
東海道

三日月や赤池へくむ付小舟の流る
 赤池の暮るむら中赤池の暮
 初むらむら赤池のむらむらむら
 田植して赤池のむらむらむら
 鶯の赤池のむらむらむら
 むらむらむらむらむらむら
 約むらむらむらむらむら
 鶯待やむらむらむらむら
 えりやむらむらむらむら
 石町の暮るむらむらむら

松江
 川見
 杜参
 榮静
 素鶴
 冷水
 岐久守
 白雄
 宜妻
 示玄

武藏
○石町

甲斐
○駒飼

不古

下

○今 小石川

不二をえぬ夕暮風まきし小石川

宗讚

増嶋やいつ日の暮るる小石川

全茂

り彦や詠もくを風小石川

詠布

影もまて水鶴芥ふや巨象泊

日人

梅よついでまをねく巨象の山嶽也

一肖

道昔や古海ハ昔の先も似ん

夏桂

稲書や木のもも杉露露の風

今辰

木のももや河へま〜〜初時る

玉光

ふみ葉江中も麻嶋山もうか

白雄

海川やいつ〜江戸の九月を

完未

下總 巨我 今古河

○越前 木本

○武藏 江戸

美来の霞江戸の糸起も旋る〜

葛三

ふみかや江戸てま〜梅鶴

普記

五月も白やもの千多を江戸の所

双湖

砂種千の照降所やまの峰

沙明

梅提て照降所を休ま〜

護物

いさ〜い〜やちや赤坂ハ月あま〜

呉山

赤坂の〜風風〜ま〜の月

其碇

ふ〜〜ま〜麻布ハ江戸の糸山ハ

葛三

水鶴ふ〜麻布〜ま〜はあり

麦二

つ〜風の麻布ハま〜の糸山ハ

護物

天古 阿江

○三河 赤坂駅 東海道
○武藏 麻布
○全 照降所

下

三三

○^全浅草

○^{和泉}堺

○^全青山

○^{武藏}堺町

○^全草加宿

○^{山城}木屋町

名は得たる麻布に得たる
 浅草や梅すかきしるまの
 ら牡丹や人の中ひ枯り
 まま一はまの市やさる
 船ややはまのちよと
 浅草の雨あまきし初
 牡丹のまきしるまの
 ままの梅あまきし
 ままのまきしるまの
 やまの梅あまきし

川菖
 成美
 佈美
 賞星
 車雨
 柔角
 應虎
 志守
 政守
 大江丸

麦所や梅の庭のまきし
 海すかきしるまの
 ままの梅あまきし
 りと梅あまきし
 浅草の梅あまきし
 ままの梅あまきし
 木屋町の梅あまきし
 木屋町へ持て這入る
 木屋町の梅あまきし
 木屋町の梅あまきし

蕉雨
 護物
 宇橋
 沙朋
 可景
 志守
 志守
 挿三
 多代女
 老標

北津濱

水は流や水うつしへの初時五

大江丸

美濃 岐阜

北流や葛藤の心とけりけり
さしをね起まはるゆる岐阜の町

未木 茶静

駿河 由比駅

船の巻の風も草もや岐阜の町
波の巻も春雨深し由比と流

其碇 護物

遠江 見附駅

朝下つり葉日 和や由比の土
末く水も足附の長ら待り

三生 宇橋

伊豆 三島駅

之日月や足附の島め小鶴と
揺るまの足附泊るや春の月

一樓 岐久守

東海道 三島駅

山吹やとる由はもけりけりけり

美濃彦

美濃 之由

模津 順慶町

朝息くくさめてけりやと時立
しはまて城をと時時の麦畑
本枯やら時とるまの泊る
そのつは時とる三号や梳の花
竹葉町の夜店の橋嘆ま

年緒 右臺 卓郎 護物 百堂

伊勢 白子

白柔や竹葉の所の東の雨
ちかまてや厚くはて白子を

素鶴 吾彦

駿河 島田駅

あちまてや白子の岩の炊汁
藤のむもえりて白子の巻さ
早々れと時由泊るやと時

草馬 禾木 柞枝

下

三

武藏

品川駅

東海道

さうし水崎田の宿のこゝろに

品川はまきし宿にあらむおの月

不川の東にありし水崎に

不川のふ足釘や日の長き

不川の沖よき宿にすあは

志那川や沖のせうの宿に

白川やふもくはて麻のた

志し川のふ宿を出てきまの系

白川やふもくはて麻のた

志し川にふつひぬきく松のた

箕山

杜若

太橋

石河

如松

史提

存義

千影

涼瀆

梅歌

陸奥

白川駅

○^出碓折岩

○^全千住

○^{近江}瀬多

○^全膳所

さうし留れ方の傳ある縁の

縁折や荏胡麻の中は妻の苧

初午やふはくのちる屋形に

ふもくはて麻のた

志し川にふつひぬきく松のた

日の長き

ほろりんや手纏提く宿に

都より十日もくはて

五月のふもくはて

夕まや宿に

五美

一宵

巴人

五湖

茗乳

多代

表丁

一隊

夏桂

士朗

世之比

下

三

○洗馬宿 信濃
我藏
 ○駿河町

草木の色やよく口をくゆる結露の味
 鳴鴨も羽をばくくむり復元の町
 水鏡に日永を照らすの川城の菊
 まるきやほろのくまの川城の菊
 赤く藤間まをかく櫓や洗馬泊
 船もやいつくまの洗馬の宿
 林の竹や花散りすの所
 雁帰るくく洗馬の河所

東山我
 田城善
 益賀
 川原
 省吾
 小圃
 保吉
 奎議

名所千題癸酉集卷之六

○寺之部 吳塚

○瀨寺

抽の心と赤くくしのくや瀨の寺
 石は寺の白く山をくまより
 瀨寺や静まこくくく ねり玉
 くるくくく彼岸まうや秋の雨
 仮りめま百合いけく谷の坊
 竹のまをまなハ知くくく 谷の坊
 石梅や人まがくぬ坊くあ

吾彦
 黙巢
 羅倉
 梅夫
 蓋村
 吾彦
 一具

。过堂

过堂も疎くさしある沙行うぬ
出来輝や过堂よまて大のあり
过堂よ懐なく雨の晴るうか
常火やせまふ入も一さりのこ
山の棟やせまの棟より赤し
新白のやせまの屋根ハ鳩曇
一むしり柿の皮下はせまうか
相のふさしくやせまの堂供表
大寺や素湯のふさうの柱のくも
大寺やはま機もせまの中

吾彦
爐扇
沙明
保吉
佛朔
了々
双湖
鷺雪
白雉
寄測

野寺

大寺

山寺

大寺や吾のくくを花出ても
山寺やくくを虫くくをわくく
山寺やなちりくく 稲の秋
山寺や取中かくくの庭掃係
夕鳥やちかきくのみ守りす
山寺の機よりきくく 牡丹の歌
新寺や水鏡まのハまきる
新くくや豆ぬつらく雪を侍
征のきくまきくくく 救りす
あまのくくくく 保まうぬ

如意
樗良
菱垣
舟静
入衆
阜郎
千崖
枕彦
守光
箕山

津更
也更

○町寺 二教寺の角力果々く、さうも色を
町寺のぼつくとあつたまゝの入
卓即

町中のおい中、さきけくく、
花もさして志をくくし、
護物

古寺 古寺の急流、さし、
恋猫や系、さきま、
暁臺

古寺や、まの雪、さ、
古寺や、鶴、も、
素郷

小寺 灌佛の雀の、さ、
蒼乳

○寺 木凡辛夷、教の小、
雙湖

○寺 葉柳の寺、町、
守光

○寺 寺、町、
保吉

○寺 寺、山、
全

○寺 寺、林、
大梅

○尼寺 尼、寺、
葦村

下

下

○里寺

戸てしや栲扱はうす栲扱く旨
里寺や菜のむつく栲扱垣
里寺や月のひさよふ芥の中
里寺や栲を栲くすく人
作寺の飯飯をやーんをむ
佐寺やんをををぬ栲の系
佐寺や栲いらくのまを説
名月や人はくす栲の寺
峰寺やけくす栲ふく栲夕
月時寺何きくく栲の種

喜遊
糸葉
卓郎
夏桂
静観
田部喜
森代女
名澄
似暁
夏桂

○作寺

峰寺

○神宮寺

神宮寺の裏及や栲の系
栲ちる直のふくー神宮寺
神宮寺の栲ふくー栲ふ系

敬高
小圃
木木

○班鳩寺 大和

○一心寺 攝津

○一身田 伊勢

元日やいうる寺の豆腐買
班鳩寺や班鳩寺のふく
ふりふりやうの栲一心寺
明月やささい出さ水く一人寺
栲治の秋志る寺や一心寺
免く其栲栲も栲栲一牙田

柔静
玉光
月居
一月
巴水
佛朝

伊美之

近江
石山寺

大和
初瀬寺

全
般若寺

極月や枯木の中枯一身田 一具

山吹の東のお野原や一月田 宇橋

稲つゆや石山寺の石の中 柳居

三日月ハ石山寺枯くくの中 木人

初瀬寺首尾敷持く水と杜宇 淋山

早合や初瀬寺の東の中 守三

堂や木らも石初瀬寺 一種

稲東や雨雲さハく初瀬寺 棧車

稲東や石火を焚くつせち 川崎

般若寺初瀬寺の石の中 杖長

武藏
萩寺

山城
二尊院

般若寺の東は石火を焚くつせち 杖長

鹿の音も石火を焚くつせち 檜山

萩寺ハ萩の石火を焚くつせち 一蕙

萩寺や木らも石初瀬寺 元堂

三枝寺より石火を焚くつせち 白鷗

芝の音も石火を焚くつせち 宗護

新羅子の石火を焚くつせち 蒼虬

寺々も石火を焚くつせち 小圃

卯の音や雨の二尊院 木木

杜若も石火を焚くつせち 護物

仁和寺

仁和寺をまゝにねん挿しつゝ
仁和寺の秘蔵の入や
仁和寺の京の田舎の
仁和寺の歌の額を
仁和寺の庭の牡丹
まゆ柳や不ひ
明月の夜
日本寺
乙子の初
堂の

素志
月底
与人
李峰
折寄
長翠
巢二
逸山
岐久守
博堂

二月堂

日本寺

女人堂

女入堂

菜寺

白露の
船
ま
ま
賞
法輪の
法輪の
梅
法輪の

白湯女
養女
葵亭
白絲女
谷雄
木木
士朗
葵亭
塊翁
菜所

法輪寺

○^全本國寺

万葉の傳く空もや本玉寺
伝承よるも幡の寺は所本玉寺

素志

○^{人上}本願寺

大坂の牡丹法けぬ本願寺
七夕の夜も余をよまは本願寺

召波

出りしやもるも本願寺
時自らの情もゆるく本願寺

乙二

掌や西彦足よる本願寺
一葉ちほ畑もよる法隆寺

春魚

せし時や足何け言まは法隆寺
麦秋や木ききゆる法隆寺

阿古丸

○^{大和}法隆寺

一葉ちほ畑もよる法隆寺
せし時や足何け言まは法隆寺

東哉

麦秋や木ききゆる法隆寺

禾木

○^{三河}鳳来寺

草外や百人合ふ鳳来寺
空よ入る時法隆寺

悦臺

○^{武藏}本門寺

日所と情もゆるく本門寺
木免や杉よ月も本門寺

青霞

渥佛や西もゆるく本門寺
空這ふ本門寺

曾人

○^{山城}平等院

川物よ平等院の本真々
空風平等院も果々

宗拱

○^{武藏}平林寺

秋風を吹ぬりも平林寺
空を吹ぬりも平林寺

守三

五陵

下

柳川

山城
東寺

先涼め東寺はちうさく凡とて
塔一ツ東寺の塔を尋ねて
祇園の余をよみ東寺の福を
堂ののちとておのれを
西院のふりて東寺のつとて雪を
本枯やねのふさくて東福寺
夕くまやふ葉の中の東福寺
回廊や産屋をくまふ東福寺
色丁や甥の傍に東大寺
いとねや南よむて東大寺

召皮
玉水
左一
迦孫
宇橋
成美
岳輜
得一
葦村
大江旭

大和
東福寺

大和
東大寺

河内
道明寺

武藏
東海寺

山城
智恩院

虫干れ古とて人そこ此寺
日くくし秋夕の白く是所寺
生海苔の波くら涼や東海寺
涼くまふ余をよみて東海寺
明月の松をよみて東海寺
ねをよみ一ふあき東海寺
智恩院の塔をよみて
所中は橋をよみて智恩院
涼雨の小葉をよみて智恩院
後くくも橋をよみて智恩院

希拙
玉光
召波
念夜
兔柳
護物
蝶夢
闌更
一茶
風也

下

四四

相模
○茶湯寺

鐘かてくはくくまぬり月院
かんこりやや徑ちすう茶湯寺

茅丸
雀角

近江
○長命寺

はくしちるにちちるよ茶湯寺
茶湯寺のけけけけけ茶湯寺

禾木
元雄

山城
○龍安寺

芳晴やまきまらららら長命寺
名月くすくくくく長命寺

護物
泉居

信濃
○福川寺

水毎月やまきまららら龍安寺
水毎月のけけけけけ龍安寺

啓山
一具

○福川寺

名月やちちちちち福川寺
名月のけけけけけ福川寺

荒尔

山城
○黄檗山

黄檗山の水を月まきまららら

魯仙子
梅子

全
○高曇寺

黄檗の水を月まきまららら

吾長
甘古

○高曇寺

高曇寺のけけけけけ高曇寺

竹鬼

尾張
○笠立寺

高曇寺のけけけけけ高曇寺

一具
五陵

○笠立寺

高曇寺のけけけけけ高曇寺

士朗
葛三

○笠立寺

高曇寺のけけけけけ高曇寺

雨考

下

四四

甲斐 栢尾茶師

栢尾寺は新白おきまんふりてい
かきつちやまき田んぼの空泊

善磨 碓之嶺

武藏 榎寺

榎寺のくしらの日の十二
は白きめい骨のかきどのまゆ堂

護物 岐久守

美濃 柿寺

柿寺のくしらの日の十二
柿寺のくしらの日の十二

一蕙 棧車

出羽 罨満寺

罨満寺のくしらの日の十二
罨満寺のくしらの日の十二

依平 妙扇

近江 横川

横川のくしらの日の十二

真侶

山城 大佛殿

大佛殿のくしらの日の十二

素人

宝真寺

宝真寺のくしらの日の十二

玉光

宝真寺のくしらの日の十二

光浪

○^全大徳寺

北の芝の福をさくさくする大徳寺
甲子の時の水のまじり大徳寺

召波

椿堂

庵のつらぬ梅の白しらや大徳寺

芝郷

百合提て大徳寺もさくさく

草也

○^全醍醐

醍醐もさくさく二度と咲ぬ梅二枚
夕さくさく醍醐の梅の白く咲

召波

環山

○^{大和}達磨寺

達磨寺もさくさくやまをさくさく
達磨寺もさくさくやまをさくさく

召波

守豊

○^全當麻寺

當麻寺もさくさくやまをさくさく
葉さくさくや當麻の森のくつ水口

召波

馬梁

○^全橋寺

橋寺もさくさくやまをさくさく
よきとや橋寺も田くさく

大江丸

角浪

○^{武藏}竹久寺

竹久寺もさくさくやまをさくさく
五月雨の志くさく寺り叶くさく

みら夜

宇橋

○^{下総}大蔵寺

大蔵寺もさくさくやまをさくさく
初雪やて物木を成大蔵寺

双史

泉北

○^{山城}双林寺

双林寺もさくさくやまをさくさく
山系花や繪巻のかくさく双林寺

大鏡

雨鴻

○^{大和}染井寺

染井寺もさくさくやまをさくさく
鶯の水くけさく寺や双林寺

冷水

茅磨

多曾

武藏
増上寺

沼てゐる水のぬるむやきめ井ち
ずい風や花のくみ増上寺

亀負
中露

大和
壺坂寺

春雨ふきくさきくは芝の積
塔きくくは葉よく水増上寺

双湖
亦玄

山城
南禅寺

壺坂や佛の縁もちるもち
はな坂やくさく通ふは流のち

春路
忘行

武藏
中野塔

ふ相や教をえくくの南禅寺
葱割む味もちりり南禅寺

藏六
キ堂

くくは雪え豆腐やちの徑寺
お梅や長者を交の塔佛

護物
思部喜

寺房
那古寺

ふてもとの中せの縁やおの杉
子おや中せお塔ち里の中

小圃
護物

丹後
成相寺

那古寺のくみやけくくは笑いとさ
形古寺の積いおくく時き

逸山
旬光

越中
那谷寺

ちりて涼くおおの積い波の寺
茶おや波の底あるおの積

柳居
禾木

紀伊
那智寺

那谷寺や池の奥沙門雲の雪
葉橋の本のくさふく那谷の石

呼亭
一蕙

川くさる舎やおま形智の積
おくくしやて井くくお智の積

一肖

下

大

巽七

武蔵 羅漢寺

羅漢寺や人形をふかき
花邊や貝売くさねの月
羅漢寺の佛よあはれむき
羅漢寺の露をまけやまの
羅漢寺の一角をわらわ
立るまや厚もゆるき
まらるまや積りのまの雨を
わらわをま後ふまらる
種あやま林後の小紫も
照るまや厚も後りの月を

谷雄 玉鉉 龜羊 東城 麦洲 玉光 宇橋 麦村 一か月 連志

遠江 無間寺

山城 雲林院

武蔵 浦島寺

上野

梅若塚

まの秋や雨も後を垣
まの秋や雨も後りの人
十三夜も後を垣
蓮池や上野の入白も
らるまはれりまらる上野
まの秋や雨も後を垣
まの秋や雨も後を垣
垣越の露も後を垣
梅も柳も雪のりらる

巴水 冷水 長翠 護物 玉川 卓池 涼谷 芭竹 可景 全彦

半壺

近江
○淳御堂

梅の雪の霞はあ後よかく水々も
十三夜の月をふくむは淳御堂
舟よせて稲うけりやうたは半
鳩の巢のそをけしめや淳御堂
鷹を待人の的やうたは半
水多のよふは白船や淳御堂
石寺や林のうらよるおの昔
岡寺や後よきうけり車の雨
空也寺の影影はぬ垣ふく
後摺のふを風吹や空也堂

阿惠
方明
椿堂
梅價
采友
好く
足湯女

大和
○岡寺

山城
○空也寺

烏翠
恒丸
吐山

全
○鞍馬寺

嵩や東はさけりし寺也寺
志うしむや月うつそ也のうの恒
空也寺の影影はぬ垣ふく
了の脊ふおのー鞍馬の登縁
あつたそのをさう川寺の鞍馬寺
馬谷の初夜さく月のせ川が
馬谷の繁をる見やう川梅
くろがを道まであそや采古き
馬谷の志ふくやう。足湯
く馬谷の志ふくやう。足湯

雲帯
布雪
呉洋
米彦
一樓
儿董
宗讚
右臺
巴水
春路

全
○馬谷

久
於

○大元興寺

○駿河久能山

○武藏寛永寺

○上野光泉寺

元興寺のつらふくくはなつ草の火

元興寺とておとこいふるは

久能寺の葉や十日も待たぬ

白雪やうる能の赤山の秋

是れ日やきりの花ある久能山

久能寺や月もまはるる

うらふ花のあはれや寛永寺

雨も入上りぬるをいふ

六のまゝふくくはなつ草

田舎裏へ水鏡映る光泉寺

玉光

梅壽

河見

秋朝

清風

希拙

詠偏

川我

護物

今度

○陸奥黒塚

○武藏柳島
○妙見宮

○摂津摩那寺

○相模松ヶ岡

鬱鬱のくまふくく光泉寺

黒塚や納ハ人々け道はうら

くは塚ハ五月目もや松島

能者もや江戸の田舎の柳島

んかへ源もいふ柳島

帆ハ陀羅尼くくく本所島

摩那寺のまはれもふく秋

まやまのくく信もや秋の

見病も松の事ゆつくる松島

世のあはれもくくあはるる

箕山

曉臺

赤守

太長茂

松島

春路

大梅

巢二

蓋村

護物

久也

下総
○真間寺

董つむくまをくまへしきり
 白雲の影をさかしくぬき
 入海や水のうまはくまの
 寺の燈をさかしく
 味の綿やまきや雨の
 建仁寺の垣根をさかしく
 和歌あはれをさかしく
 月よりくまをさかしく
 堂をさかしく
 雪の植のまをさかしく

足代女
日人
南涯
應
素卿
布雪
曉臺
夕代女
えん

山城
○建仁寺

相模
○建長寺

相模
○藤澤寺

山城
○小町寺

全
○戀塚

よつてははなはなをさかしく
 藤澤や菊をさかしく
 花のまきや夕をさかしく
 積のまきをさかしく
 羊をさかしく
 流合をさかしく
 流合のまきをさかしく
 恋塚のまきをさかしく
 恋塚のまきをさかしく
 恋塚のまきをさかしく

葦村
天外
豊女
雀角
葦村
昔阿
護物
都雀
尺艾
他力

○^全真正寺

日らじりやまねの恵塚村もあつて
恵塚の村も一とえをそとて

夜鹿
大鏡

河内

○務河寺

巨磨屋もまんの尾葉の真正寺
尾葉の寺もまよぬ真正寺

長高
湖月

相摸

○極楽寺

竹林や務河へまの村齊智
明安もまのけしや務河寺

詠歸
春路

武蔵

○護國寺

牛くそ卯のまよぬや極楽寺
榮山もや務河のまよぬ

阿惠
谷雄

護国寺の時斗舟入ぬまの雨

一宵

○^今駒形堂

護国寺を通りぬり山をまの村
いふつりや駒形堂ハ人の中

小圃
守吉

常陸

○根本寺

駒形や神代もまよぬ
こもまよぬを木の影もや根本寺

宇橋
恒丸

聖子もまよぬ根本寺

一宵

○^{山城}恵心寺

まよぬの影もまよぬ
まよぬの影もまよぬ

蒼丸
静観

恵心寺の影もまよぬ

國村
汶水

まよぬの影もまよぬ

元風

甲斐
○恵林寺

さき母さの唐草むらさき梅

元令

恵心梅さき車や月めハ虫砧

控蓐

さき母さの唐草むらさき梅

護物

近江
○永源寺

永源寺さき車梅さき車

全書

日ハ西子お葉え越しぬ永源寺

竹窓

山城
○天竜寺

くはのあめの月よる照して法寺

曉臺

花咲ぬあも面白くして法寺

環山

摂津
天王寺

梅のあも賞のつれあて五寺

少女

さき車とらへおては梅のさ

長翁

新雨やあ葉のさめの五寺

一月

19 惠天

遠江
○秋葉寺

月おしあ葉の中は秋葉寺

長翠

全
○油山薬師

杜あきさきへおほきさき

衣月

くこの虫祈らさへあさ

夕夜

けし木瓦のめさき油山

護物

武蔵
○浅草寺

え日や羽織てはさき

心匪

この川はさき寺はさき

梅夫

さのあや月はさきの堂

子房女

梅さきはさきの通あの日

双史

安樂寺

鳥のたつも古泉流安楽寺

石湖

万代のまねの庵や安楽寺

夏桂

月をさそふこころは村の安楽寺

護物

こころあはれむらんこころや種家寺

草均

はるあふやねふく 総泉寺

好く

雪のや雪の降るまはるに

西賀

寺のうけとてまゝに花のまゝ

宇橋

妓王寺の結清くはつる水也

素心

妓王寺の月やあまのこころは

杉長

妓王寺ハ枯れぬの山こころは

詠歸

武蔵 総泉寺

左 笠寺

山城 妓王寺

全 清水寺

清い水はつらきまはる 燦々

松兄

雪のあふは清い水も花もあはれ

雨賀

清い水や唯れ移るまはるに

護物

はるこころはまゝのまゝに

蘭更

本宮入やあまのこころは

大江丸

まはるやねのまゝに

和来

夜はあまのまゝに

柔静

秋のあまのまゝに

一貞

秋のあまのまゝに

草丸

稲川や鎌工をゆゑ

玉英

左 安

全 銀閣寺

駿河
清見寺

月夕静修庵の秋やうらむはく

吾彦

十月の不二のこころはらんち

恒丸

ふれはる波もやうらなは清見寺

其翼

白波はらるる梅や清らんち

榮齋

清見寺の池の底のまきらるるお葉

逸山

清見寺の池の底のまきらるるお葉

杉長

清見寺の池の底のまきらるるお葉

越見

清見寺の池の底のまきらるるお葉

素志

清見寺の池の底のまきらるるお葉

雉啄

清見寺の池の底のまきらるるお葉

駿吉

安房
清澄寺

清見寺の池の底のまきらるるお葉

杉長

清見寺の池の底のまきらるるお葉

越見

清見寺の池の底のまきらるるお葉

素志

清見寺の池の底のまきらるるお葉

雉啄

清見寺の池の底のまきらるるお葉

駿吉

近江
義仲寺

義仲寺の文儒てくる志らんち

雉啄

義仲寺の文儒てくる志らんち

駿吉

丹後
切戸文珠

けきやもころ文珠のまきらるる

玉光

いろもは群をくるさぬ切戸哉

棧車

木枯の月や切戸の静の鳴

里丸

ほきやのうらまえらんち三井寺

暹竹

新鳥の秋もはらんち三井寺

自光

はらるるや日暮らんち三井寺

一樓

雲何よや月暮らんち三井寺

帰焉

ふれはる波もやうらなは清見寺

詠帰

ねりけやまらんち三井寺

玉光

苦免

武蔵
自黒不動
竜泉寺

ねりけやまらんち三井寺

玉光

山城 土生寺

鹿守の畑土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也
土生寺の御影堂にゆ也

玉山 田都喜 一宵 春路 護物 冬彦 秋奉 素志 菊所 護物

御影堂

甲 身延山 久遠寺

近江 三井寺

催仍の指の先く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山
雪の影の影くを抱く身延山

士朗 葛三 谷雄 杉長 尺徳女 祐昌 兼也 素志 晚嶺 竹馬

山城
○真如堂

この後ろ志う水奈くれ志如堂
秋枯の夕々々々々々々々々々々

一樓

○七大寺

志如寺七寺のや

揮堂

いさ出て強月々々々々々々々々々

魯德

古草やと水もたきね志如寺の古

加斯

芍薬の畑つ々々々々々々々々々々

護物

武藏
○称名寺

夜々々々々々々々々々々々々々々々

冥々

く年々々々々々々々々々々々々々々

分後

近江
○志賀寺

志如寺もや振ふ夫の二人扶杖

乙二

志如寺や志のいふ戸の舟一里

雨洲

今
○日枝山

志如寺ハ藤原秋の二月うね

風芝

早蕨や子ハ志如寺もよ清もえ

雉吟

稼うつくつ替ハ志如寺も志如寺

榮静

比叡の志や志の志を押しさ

米後

大ひえれ小日枝の下能梅のふ

蒼虬

花の雨比叡えんぬ人もか

素志

まらぬまらぬんと日枝の山

書後

比叡をいそ子願先出りの如牛

榮静

木母寺も蓬もかうれお月うね

分後

木母寺の秋ハ志如寺一鳴り

伯先

武藏
○木母寺

下

下

^下下野
茂林寺

本母寺の好いふくさくや暮れ月
本母寺をくさくさの足きりや時を

秋奉
谷雄

本母寺のクハ新市一花のふ

菱垣

茂林寺の好いふくさくや暮れ月

米彦

^{山城}清閑寺

学ももつとほろや清閑寺

梅壽

おれあふたる叶の中を清閑寺

曉臺

莖つちく女もくさくさ

護物

月さふらんや月夜のみを後院

烏須

^全聖護院

鳴くは学をきき

五陰

早枝や人の通くぬ

孤竜

梅くさくさやくさくさ

旬光

おれ枝や叶並をきき

大梅

世さるの庭の梅も

亀白

世さるは世さる

護物

夕立や世さるは若く流さく

羅城

世さるは一寸とさく

一肖

秋くしや界の地産のふ

斗入

古製法苑の界の地産や

護物

^伊伊勢
世美我寺

古製法苑の界の地産や

護物

秋くしや界の地産のふ

斗入

世さるは一寸とさく

一肖

夕立や世さるは若く流さく

羅城

世さるの庭の梅も

亀白

梅くさくさやくさくさ

旬光

おれ枝や叶並をきき

大梅

早枝や人の通くぬ

孤竜

^全関地藏

古製法苑の界の地産や

護物

下

下

武藏 泉岳寺

給与く人の子守ふる 夕陽 岳寺

東峰

近江 関 寺

深寺の静けさ 夕陽 関 寺

夜鹿

信濃 善光寺

善光寺の静けさ 夕陽 善光寺

榎良

山城 墨染寺

墨染寺の静けさ 夕陽 墨染寺

杜蘭

瑞巖寺

瑞巖寺の静けさ 夕陽 瑞巖寺

一具

陸奥 瑞巖寺

瑞巖寺の静けさ 夕陽 瑞巖寺

甘行

長齋

長齋の静けさ 夕陽 長齋

玉蓮

塞馬

塞馬の静けさ 夕陽 塞馬

卓二

柿磨

柿磨の静けさ 夕陽 柿磨

乙二

大梅

大梅の静けさ 夕陽 大梅

夏園

乙二

乙二の静けさ 夕陽 乙二

夏園

○神社之部

○瀨社

春雨や傘片一はきく一後社

白雄

炬火ふきく時つらく一後社

亀白

おろ織力の寺も日永く一は後社

護物

○古宮

古まや志戸アもあけ草履そ

漱石

ふもふ水の水もあや 軍古香

梅塙

○今宮 棋津

いまふ能峰掃志そ とき

召渡

とふ能月あはそ 春の軒

元醒

○生田社 全

里人やまめそ生田の里系

月居

冬の月生田の社 けくハ也

元醒

○息柁社 常陸

さく梅の息柁ハ梅の名系あぞ

恒丸

かきこさく息柁の瓶の汐くるこ

啓山

水争の崎や息柁の束の原くこ

如英

○巖島 安藝

梅くまのそそるよのひくやつく志後

首三

春の夜のまふもゆは心越く宮

葵亭

まはりや汐まうらうそそる水

甘古

佐保姫の古くあまや巖島

宥臺

稻の粒をいしく麻や巖一濃

巢二

伊波 不

下

二

橋姫宮

くし姫いらひさき初冬の雪
橋寺の鐘をきく姫の夕柳
くし姫の灯をきく寝るあはれ
橋ひめのくし姫通るやまのさき
下宮をゆくをきく中へお黒山
かたきや梅を東のくし姫山
出やらぬはありの月を羽黒山
涼しきや春を鳴るの羽黒山
あつ雨や新田の神は様御
まつ風のまきよ進子も新田うね

春鴻
素志
沼人
吳光
柳九
長翠
誦帰
鶏周
里湯女
希拙

羽黒山

新田社

富立八幡宮

信濃 戸隠山
山城 地主権現
近江 竹生嶋

山明や老うらひ手かたのよ
くしの日や鳩よ杖持やるあうよ
牡丹えんやまゆらまのまわりよ
戸からくしや日おまきの露もむ山流
戸うらくしやまをあるあまの時を
群さめや地まよ入のまは機
草木のあはれくし姫のまをきく
ふりまよふくし姫のや地まの花
菅弓や地ま持現のまのあはれ
初冬や新日くし姫のまをきく

棧車
亦玄
さらを
可厚
叢
存義
曉臺
直也
梵龍
みち彦

登波知亦

武藏
王子権現

山城
賀茂社

涼風や〜ゆる〜ゆる〜ゆる
 漣やおぼろり能中〜み竹生島
 朝鳥の露より〜ま〜み〜
 夕立の入口おろ〜ろ〜
 夕楓王子のま〜ま〜
 初午や江戸よ〜ま〜
 春の情を〜〜
 賀茂の灯を〜〜
 かへ来て控火の御法も春の月

和月
 蜂舎
 東城
 一狸
 佛朔
 上人
 里丸
 詠歸
 曉臺
 乙二

天和
春日社

摂津
高津社

伊勢
神路山

鳴雲雀か茂の社を〜
 十月やか〜茂の社の大掃〜
 草ハ〜茂の社を〜
 鐘 月車〜の社のす〜
 こ〜のえ〜の社を〜
 ゆ〜の社を〜
 松の〜の社を〜
 お〜の社を〜
 り〜の社を〜
 秋〜の社を〜

谷雄
 一路
 護物
 西六
 東芽
 雨洲
 禾木
 吾彦
 蒼乳
 知牛

武藏

○神田社

○栄崎社

全

○亀戸

天満宮

下総

○香取社

花一本り何んかす神崎山

秋の夜更けの月をわすれ山

市後ろも春あけのや神田川

栄崎の林あけのゆるい月

掌や亀戸へまはる 新あけの

是れや亀戸のあけの雨

後ろの月をわすれぬ月夜

鳴る女能あけの文念ぶ

このころは春あけの香取の

鳴る女能あけの香取の

百慈

護物

梅壽

一司

奎儀

護物

春鴻

恒丸

廿二

千加女

常陸
鹿嶋社

五月の雨をいかにまの雨

水北あけの雨あけの雨

あけの雨あけの雨あけの雨

水北あけの雨あけの雨

あけの雨あけの雨あけの雨

あけの雨あけの雨あけの雨

あけの雨あけの雨あけの雨

あけの雨あけの雨あけの雨

あけの雨あけの雨あけの雨

あけの雨あけの雨あけの雨

女長

棧車

双史

いと女

尾花

志分

栗大

椿堂

文卿

の娘女

近江
○多賀社

○豊前
高良山

林

六三

越中 山

立山や平らな入層のこゑ
あ中へくぬ立山の月あうね
立山ハハアあるまの月ぐくま
立山や雪うくくは秋のまき
立山もまき管人ちゆもくわ
初汐子のまきくまは島
まのまきや子守の中は玉津島
まのまきや操場くまのま
まのまきやあまひうら百合のま
入合敷のまきくわは島のまのま

標良 玉屑 布雪 甘行 双湖 春踏 護物 雨塘 玄く 梅壽

紀伊 玉津島社

下谷 曾我姫宮

尾張 津島社

武蔵 根津権現

下野 室社

かまの汐の汁島系やけうのま
日のまきを根津の社や雪うくま
宗右衛門のまきくまは島
神楽のまきくまは島
三葉のまきくまは島
掛のまきくまは島
雨のまきくまは島
雪のまきくまは島
行ぬらひすてりや室のハハア
子をあひふまきのまきくまは島

冷水 好く 双湖 石湖 護物 日人 巴堂 首亭 茶壽 名つ女

少曾 津島

下

五

○^{筑前}宗像社

○^{山城}大養社

○^全梅宮

草笛の宗像多敷小まきくね
宗くくや社くく浪も西は電の考の
ち養ハ叶はくくく夏の月
ちの美希やワウ美希のねる灯のくねる
西山やち養まてくく美 是
ち養のくねるくくく 野の考
川ぬや燈くく美くく梅の美
河くく地かくく松の尾くくめの美
宮やきくく梅の尾梅の宮

夏桂 護物 士朗 野揚 嵐外 井里 護物 東我 斗行 元風

○^{武藏}牛島前社

○^{山城}野宮

○^{根津}吳服宮

窮口カ牛の美希の目水くくね
牛島ハ月くくく後の美くくく
サの美や只吹ふくく木の美
野の美は灯は清くく郭くく云
サの美は美はくくくへ美宋希考
野の宮はくく美美をくく納豆汁
けく美乃燈の美はくくくや美の美
虫かくくや吳服の美ハ美の美
那さくくや吳服の美の美は美
那の美は月くく水くくの神はくく

衣月 香粧 雨考 一囁 凉瀟 月底 素撰 屋為 冷水 棧車

出羽山

月山の雪はつらつらかきつる

嵐丈

月山の雪はゆるゆるあやめ鳥

一具

涼しき世に月山に花も紅く

一首

五月の日の光もあやめ月

箕首

越中 俱利伽羅峠

くらげもやうもよみゆき

甘行

ゆるゆるかきやゆきもちり

岐久守

山城 八幡山

いねの香もやゆきもすく

叢

ふきの香もゆきもあやめ

梅塙

越後 弥彦山

雪おのふもやゆきもあやめ

乙二

雪おのふもやゆきもあやめ

篤亮

大和 布留社

稲の香もゆきもあやめ

東峰

ふきの香もゆきもあやめ

赤守

月影も布留の社に花もあやめ

如雪

木枯も布留の社に花もあやめ

世南

菊の香もゆきもあやめ

元風

鶯の香もゆきもあやめ

夏桂

あやめゆきもゆきもあやめ

護物

江の崎もゆきもあやめ

谷雄

江の崎もゆきもあやめ

一具

江の崎もゆきもあやめ

一瓢

不江也

下

下

下巻
○手見女社

江の島より舟禁くあのはる白く
江の島の雨やけしきりの入
らるる世もよゆきも見せり妻の秋
は東陽急やてまゝのまゝ雨の中

豊女
茶静
田美
大鏡

山城
○愛宕山

中伐やもて岩も山ハきとくく
あまふ入のおと定ぬるや朝日和
明月やいづるも動く人のうけ
雪の降あはるの山を中みして
赤松やあはる下きもいづるも
身よりけりも花の雨や候とを

一肖
蘭舟
谷雄
如孫
赤葉
蟠

和泉
○蟻通社

伊勢
朝熊宮

夕立の難もきしはるは候通
扇より大さく赤松あはる下
畑より秋も連出あはる朝熊山
朝くまやは草もあはる五月雪

石湖
赤守
了女
護物

尾張
熱田社

初春のあややあはるは候通
切命の秋葉もあはるは候通
夕立の秋もあはるは候通

三生
复桂
越児

遠江
○秋葉山

夕立の秋もあはるは候通
かんもあはるは候通
はるはあはるは候通

沙明
复桂
玉光

下巻
阿諏訪社

紀伊
○淡嶋社

山城賀茂
○齋院

大和吉野
○藏王権現

甲斐
○酒折宮

梅うまや阿すいの小葉いつ枯

淡島や幣ふかき雑の獲

りしの扱きす淡宮侍う

斎院の人鳥の巢をかく

ひさよひや齋院の世のおも

新毒まきや藤五の鼻の下

花を踏き藤五の鼻は

酒折の楠もろやけ

酒折十日も建

さう折や淡も初

旬光

草雅

護物

車両

梅壽

存義

護物

女彦

乙二

甘行

讃岐

○象頭山

酒折のけぬあそや小田彦

花をまき藤五の鼻は

峰と月のるふ藤五

淡島の舟を押しや象頭山

祇園戸乞老は日く

ひさよひや齋院の世のおも

山吹もちき藤五の鼻は

おのまき藤五の鼻は

多の葉やつも

灯のまき藤五の鼻は

護物

月居

寄刺

谷雄

涼休

菖亭

維駒

召波

竹児

多代女

山

山

備中
土呂備津宮

出羽
湯殿山

大和
三輪社

之野くまきりくまきりくまきり紅の灯

もろ柳や春はばはのまに赤金也

はくもきぬ湯殿のくまきりやきり輝

雪ふんていつのそ涙の湯殿くま

下り坂そりて降りて湯殿くま

五丁目や湯殿のまきりのひくは雨

稲垣の三輪の前のからんはくま

うけりて雪のいろはに輪の枝

清なる水もきぬ三輪のくま

化地

夏挂

護物

鳥辭

柳儿

鶏周

仙花

呼亭

雀角

玄流美

伊豆
三嶋社

北藏
三園社

神くまやきぬ葉もまき三輪の山

月のかきよ山もまき三輪の山

柳枝ぬえの時の水もまき三輪の山

雪もまきぬ三輪の山

いとまきぬ三輪の山

三輪の山

とめくまのまきもまき三輪の山

三園や月もまき三輪の山

三園や田もまき三輪の山

三輪の山

梅壽

さき焼

みち原

五呪

有臺

草兆

郁賀

叢

冷水

護物

○水稲荷全

只をよとよ花よ瘦るや水稲荷
ちるまのゆがた下を水稲荷
赤嶽や雪らる中の雪らる終
終子ゆが赤嶽をたるけまの雨
雪も乳何れ赤嶽のく嶽哉
さう山の水もささぬ赤嶽山
き山よ赤嶽のそゆるを雀か
下加もの鼓さくゆる土用うた
下鴨よ人達ひする赤嶽よ
下うもや日をも戻るくらの賣

西月

爐扇

素檠

元風

志分

名夜

眞文

一肖

兼心

亀白

○赤嶽山信濃

○妙義山上野

○下鴨社山城

○神泉苑全

○惠那山美濃

○檜隈宮信伊

○立次山豊前

○住吉社棋津

花をよとよ花よ瘦るや神泉苑の夜の雨
雪のゆがた赤嶽のよとよ
赤嶽の雪らるや赤嶽や神泉苑
赤嶽をたるや一日の雪らる赤嶽の
赤嶽の雪らる山の初日そのまらる
雪のゆがた赤嶽の雪らるの
赤嶽や日よはくむく赤嶽の
赤嶽の雪らる赤嶽の赤嶽の
赤嶽の雪らる赤嶽の赤嶽の
赤嶽の雪らる赤嶽の赤嶽の
赤嶽の雪らる赤嶽の赤嶽の
赤嶽の雪らる赤嶽の赤嶽の

朱佛

葉舟

益因

赤守

竹逗

復桂

護物

葵亭

一肖

介亭

比寸 美之惠

何言や夕日のさるる雨の中
 何言の宵明ふるき程くぬ
 才美くや老をりし秋の月
 何言の灯より早し秋の留る
 田都喜
 涼谷
 秋舟
 大梅

○ 雑之部

伊勢
伊勢虫

いせの窓かほほる口はゆるはもる雪
 何ぞも身はくちつ侍の成士
 明月や繁とく物いそひの夜虫
 伊勢の娘もまゝ急をばり生家

上野
伊香保風

いふは風を吹ちたる秋の葉より
 去るくも月をすまはれやいふを
 伊香保かふくや急を吹百合の上
 去るく水はあつた花うたは秋の

伊勢
濱 萩

去はる萩のむつとくはあつた秋
 去るく水はあつた花うたは秋の
 去るく水はあつた花うたは秋の

伊波

相模
○鹿ヶ石

後、秋子以是のりやろるも元
又、御子の川、持てまゝるや席うす
君、その子、懐くもさけしとくす

春路
玉後美

武蔵
秩父松

吾、其、動くんありしり席うす
その、稻の、香あまう、水くち、ぬ、松
ちく、み、松や、ま、力の中、う、く、松、を、

護物
長翠

常陸
要石

松の、あ、も、ま、ま、ち、く、ふ、の、新、曇
陽、光、の、目、う、こ、そ、ゆる、け、あ、石
鶴、鶴、の、志、を、お、く、く、や、あ、め、石

守光
柳儿

近江志賀
宇崎松

系、松、の、松、の、新、く、志、望、の、松

一草
玉珂

相模鎌倉
○段首

亦是、某、や、宇、崎、の、松、二、本、あり、く、く
辛、崎、ハ、一、本、て、よ、く、く、その、美、く、く
月、く、く、る、る、を、う、け、かつ、や、志、望、の、松
く、く、松、の、松、の、ゆ、く、ふ、き、う、松
時、く、く、あ、く、く、や、東、海、の、松、く、く、

少汝
一具
一星
草雅
午心

武蔵
高馬場

ほ、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
満、月、を、く、く、田、の、く、く、場、の、目、の、く、く、
あ、葉、く、く、く、く、く、く、田、の、く、く、場、を、日、の、く、く、

護物
玉光

群奥
武隈松

鳥、の、志、武、隈、の、松、ハ、枯、く、く、く、
武、く、く、く、く、く、く、の、志、く、く、く、く、く、

以吉
石峯

川峩

播磨
曾根松

岩のまじり松風しるき岩根の宿

碧水

春風のるる根の宿し初給

平雄

ぬ月の夜もさかんる根の松

詠傳

つらまきしきしむえの竹松花

吾房

松芝のまきしるのちよ藤原ま

菅笠

つらまきしきしむえの竹松花

茅磨

つらまきしきしむえの竹松花

梅壽

おうしん風のそや梅松を 次ぬ

改二

さめまきしきしむえの竹松花

みち廣

さめまきしきしむえの竹松花

一蕙

駿河富士
鶴芝

つらまきしきしむえの竹松花

菅笠

つらまきしきしむえの竹松花

茅磨

つらまきしきしむえの竹松花

梅壽

おうしん風のそや梅松を 次ぬ

改二

さめまきしきしむえの竹松花

みち廣

さめまきしきしむえの竹松花

一蕙

武蔵
梅屋鋪

さめまきしきしむえの竹松花

みち廣

さめまきしきしむえの竹松花

一蕙

水鏡のあけきいり梅松を

川添

一本のまきしきしむえの竹松花

梅壽

大波の松も宿るは 途

白圖

大波の月より水よ松を昔

護物

夕立のやの松花の 二かきしき

寄詞

夕立のやの松花の 庵十

庵十

る松入や余の松花の 八島の松

柳居

にるまてはるよ 表丁

表丁

るよはく梅松のよ 玉屑

玉屑

一二梅松の松よ 不の松を

壽翁

伊勢
大淀松

大波の月より水よ松を昔

護物

下野日光
御花畑

夕立のやの松花の 庵十

庵十

尾張阿波手
御敷香物

にるまてはるよ 表丁

表丁

伊勢
不折梅

るよはく梅松のよ 玉屑

玉屑

曾津
矢不

下

三

信濃
布花家

箱つりまおまのぬきふる布花屋

蒼乳

花のうらまふ出たはるの屋伏屋

千産

志しはくわらのまきわハ灯をカ

春曉

後越や孫々ふさきとく

召波

たしとるやらとてわさう一具の口

士朗

後越わきしぬ昔のまじり

谷雄

あし越のほろとくは飛渡の標

の於良

後とるの浪もとくぬ枯舟を

護物

くらしまわりの川上ハ五本松

昌作

学も水もあふ老ぬ五本松

杜英

相模
腰越

武蔵
五本松

七四

阿不
左古

陸奥
九面

伊勢
鷓鴣石

陸奥
姉嵩松

駿河
松の
松

方回多枝葉よ夜汐とくわ五本松

兼角

たつとくや余ももまぬとまう貞

一肖

こしはくわはるまのこし入望のこ

三生

春之月おりのまふしりしき

大江元

嘗の志しとくよよ静時

比呂女

抄のよ姉嵩し官とくね

曉臺

出たふ入の姉嵩のねを官

首三

うらむる姉嵩のねを土利入

旬光

はくんさくまのねの月

魚目子

さるん出のねの

里坊女

都鳥

涼しむらひしをうけりて
初まやむらひしをうけりて
秋風のあそびをうけりて
けしきやむらひしをうけりて
鶴のさきをうけりて
草はむらひしをうけりて
志しぬまのてまをうけりて
まつりしをうけりて
又字探も志しぬまのいやう上
中のまも志しぬまのいやう上

谷餅
木雄
清波
壺子
志路美
斗入
玉屑
柳下
里邊女

蕨敷
志しぬ火

陸奥
文字指石

模倣
住江松
岸野虫

住しぬ松をうけりて
住しぬ松をうけりて
住しぬ松をうけりて
住しぬ松をうけりて
住しぬ松をうけりて
住しぬ松をうけりて
住しぬ松をうけりて
住しぬ松をうけりて

白炭
恒丸
東峰
護物



